

インデックスファンドBDC（毎月分配型）

償還 運用報告書（全体版）

第71期（決算日 2019年12月20日）第72期（決算日 2020年1月20日）第73期（償還）（償還日 2020年1月28日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「インデックスファンドBDC（毎月分配型）」は、信託約款の規定に基づき、2020年1月28日に信託期間が終了し、償還いたしました。

ここに、設定以来の運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、重ねてお礼申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産／インデックス型	
信託期間	2014年2月18日から2020年1月28日までです。	
運用方針	主として、「インデックス マザーファンド BDC」受益証券に投資を行ない、BDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）市場の動きをとらえる指数（S&P BDC 指数（円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	インデックスファンドBDC(毎月分配型)	「インデックス マザーファンド BDC」受益証券を主要投資対象とします。
	インデックス マザーファンド BDC	BDCやBDCに関連する証券を主要投資対象とします。
組入制限	インデックスファンドBDC(毎月分配型)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	インデックス マザーファンド BDC	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期および第2計算期は収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

<642290>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近27期の運用実績

決算期	基準価額			S&P BDC 指数 (円換算ベース)		債 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配 金	期 騰 落 率	(ベンチマーク)	期 騰 落 率			
	円 銭	円	%		%	%	%	百万円
47期(2017年12月20日)	8,457	50	△1.3	121.74	△1.1	4.3	90.1	210
48期(2018年1月22日)	8,292	50	△1.4	120.50	△1.0	4.7	89.0	209
49期(2018年2月20日)	7,688	50	△6.7	112.55	△6.6	1.7	95.6	179
50期(2018年3月20日)	7,531	50	△1.4	111.29	△1.1	2.9	92.8	173
51期(2018年4月20日)	7,691	50	2.8	114.60	3.0	3.2	92.5	177
52期(2018年5月21日)	8,184	50	7.1	122.78	7.1	2.8	92.9	220
53期(2018年6月20日)	8,146	50	0.1	123.26	0.4	3.1	92.5	186
54期(2018年7月20日)	8,480	50	4.7	129.47	5.0	2.3	94.4	191
55期(2018年8月20日)	8,333	50	△1.1	128.22	△1.0	2.2	94.5	188
56期(2018年9月20日)	8,405	50	1.5	130.07	1.4	3.1	92.3	193
57期(2018年10月22日)	7,974	50	△4.5	124.33	△4.4	2.9	93.2	180
58期(2018年11月20日)	7,943	50	0.2	124.79	0.4	2.8	93.2	180
59期(2018年12月20日)	7,196	50	△8.8	113.89	△8.7	2.8	91.8	164
60期(2019年1月21日)	7,592	50	6.2	121.03	6.3	3.0	93.3	176
61期(2019年2月20日)	7,933	50	5.2	127.54	5.4	2.1	94.8	182
62期(2019年3月20日)	7,979	50	1.2	129.44	1.5	5.0	88.5	188
63期(2019年4月22日)	8,038	50	1.4	131.61	1.7	4.7	89.7	188
64期(2019年5月20日)	7,963	50	△0.3	131.49	△0.1	4.4	90.0	186
65期(2019年6月20日)	7,825	50	△1.1	130.23	△1.0	5.8	87.4	188
66期(2019年7月22日)	7,766	50	△0.1	130.30	0.1	5.4	87.8	192
67期(2019年8月20日)	7,650	50	△0.8	129.50	△0.6	3.9	88.5	191
68期(2019年9月20日)	7,856	50	3.3	134.18	3.6	1.5	95.6	169
69期(2019年10月21日)	7,503	50	△3.9	133.51	△0.5	—	—	124
70期(2019年11月20日)	7,445	50	△0.1	135.88	1.8	—	—	109
71期(2019年12月20日)	7,376	50	△0.3	141.75	4.3	—	—	104
72期(2020年1月20日)	7,320	50	△0.1	144.59	2.0	—	—	98
(償還時)	(償還価額)							
73期(2020年1月28日)	7,318.61	—	△0.0	141.41	△2.2	—	—	97

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「S&P BDC 指数」は、米国のBDC市場の動きを表す指数です。ニューヨーク証券取引所やNASDAQなどに上場するBDCを対象に、浮動株調整後の時価総額加重を基本として算出されます。同指数の(円換算ベース)とは、日興アセットマネジメントが公表指数をもとに円換算したものです。なお、設定時を100として2020年1月28日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

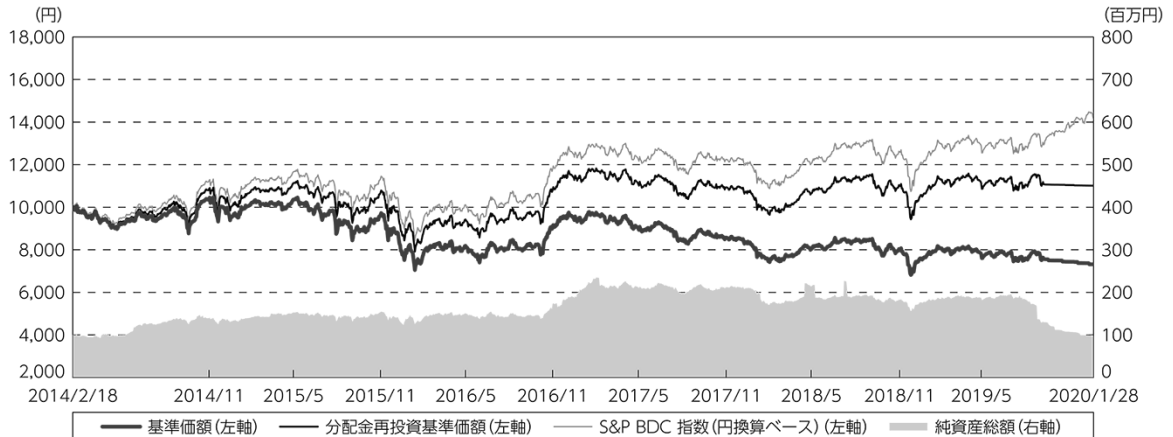
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		S & P B D C 指 数 (円換算ベース)	
		騰 落 率	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率
第71期	(期首) 2019年11月20日	円 銭 7,445	% —	135.88	% —
	11月末	7,438	△0.1	138.93	2.2
	(期末) 2019年12月20日	7,426	△0.3	141.75	4.3
第72期	(期首) 2019年12月20日	7,376	—	141.75	—
	12月末	7,374	△0.0	141.50	△0.2
	(期末) 2020年1月20日	7,370	△0.1	144.59	2.0
第73期	(期首) 2020年1月20日	7,320	—	144.59	—
	(償還時) 2020年1月28日	(償還価額) 7,318.61	△0.0	141.41	△2.2

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2014年2月18日～2020年1月28日)

設定以来の基準価額等の推移



設 定 日：10,000円

第73期末(償還日)：7,318円61銭(既払分配金(税込み)：3,500円)

騰 落 率：10.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) S&P BDC 指数(円換算ベース)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) S&P BDC 指数(円換算ベース)は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDC(ビジネス・ディベロップメント・カンパニー)やBDCに関連する証券に実質的に投資を行ない、BDC市場の動きをとらえる指数(S&P BDC指数(円換算ベース))に連動する投資成果をめざして運用を行なっております。信託期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・良好な内容の経済指標の発表や減税と財政支出の拡大などの景気刺激策を掲げる大統領候補の当選を受けて、米国経済の持続的成長への期待が高まったこと。
- ・米国の長期金利が低下し、BDCの相対的な高利回りの魅力が高まったこと(2018年12月上旬～期間末)。
- ・主要なBDCの業績が市場予想を上回ったこと。
- ・米中貿易協議での正式な部分合意に向けた進展や、英国と欧州連合(EU)との間の離脱協定改定案の合意などによる英国の合意なきEU離脱回避への期待などから、市場のリスク選好姿勢が強まったこと。
- ・円安/アメリカドル高が進行したこと。

<値下がり要因>

- ・中国や欧州における市場予想を下回る内容の経済指標の発表や中国人民元安などを受けた世界景気の減速が懸念されたこと。
- ・北朝鮮などの地政学的リスクが意識され、投資家によるリスク回避姿勢が強まったこと。
- ・米国の長期金利が上昇傾向となったことで、BDCの相対的な高利回りの魅力が低下したこと（2016年7月上旬～2018年11月上旬）。

投資環境

（BDC市況）

米国BDC市況において、S&P BDC 指数は期間の初めと比べて上昇しました。

期間の初めから2016年2月上旬にかけては、ギリシャ支援の先行き不透明感などから投資家によるリスク回避姿勢が強まったことや、米国連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ観測が強まり、BDCの資金調達のコスト増加などが懸念されたこと、中国や欧州における市場予想を下回る内容の経済指標の発表や中国人民元安などを受けた世界景気の減速が懸念されたことなどから、S&P BDC 指数は下落しました。2016年2月中旬から2017年4月下旬にかけては、良好な内容の経済指標の発表や減税と財政支出の拡大などの景気刺激策を掲げる大統領候補の当選を受けて米国経済の持続的成長への期待が高まったことや、主要なBDCの決算が概ね堅調な内容であったことなどから、S&P BDC 指数は上昇しました。2017年5月上旬から2018年12月下旬にかけては、主要なBDCの決算が市場予想を上回ったことなどが指数の上昇要因となったものの、米国の長期金利が上昇傾向となったことでBDCの相対的な高利回りの魅力が低下したことや、一部のBDCに対する業績悪化や減配への懸念が強まったこと、北朝鮮の核実験などによる情勢緊迫化から投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、S&P BDC 指数は下落しました。景気減速懸念などを背景に2018年12月に米国株式市場が大幅に下落したことも、指数の下落要因となりました。2019年1月上旬から期間末にかけては、FRBによる利下げや利下げ観測の継続などを受けて米国の長期金利が低下し、BDCの相対的な高利回りの魅力が高まったことや、主要なBDCの業績が市場予想を上回ったこと、米中貿易協議での正式な部分合意に向けた進展や、英国とEUとの間の離脱協定改定案の合意などによる英国の合意なきEU離脱回避への期待などから、市場のリスク選好姿勢が強まったことなどを背景に、S&P BDC 指数は上昇しました。

（為替市況）

信託期間中における円／アメリカドル相場は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「インデックス マザーファンド BDC」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

当ファンドは2014年2月18日の設定以来、約5年11ヵ月にわたり運用してまいりました。このたび、約款の規定に基づき、信託終了日を2020年1月28日として償還いたしました。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(インデックス マザーファンド BDC)

主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDCやBDCに関連する証券に投資し、ベンチマークである「S&P BDC 指数（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

償還時にかけては、当ファンドに投資している「インデックスファンドBDC（毎月分配型）」が、2020年1月28日をもちまして繰上償還することになりましたため、組入銘柄をすべて売却し、コール・ローンなどで運用しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

信託期間中における基準価額は、10.1%（分配金再投資ベース）の値上がりとなり、ベンチマークである「S&P BDC 指数（円換算ベース）」の上昇率41.4%を概ね31.3%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

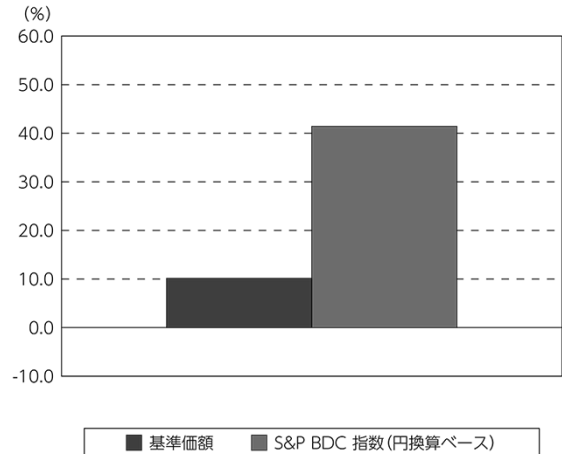
<プラス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。

<マイナス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。
- ・組入銘柄の配当金・分配金にかかる税金。
- ・海外コストディ・フィーや売買手数料などの諸費用。
- ・繰上償還に備えた組入銘柄の売却の影響。
- ・信託報酬などの諸費用。

基準価額とベンチマークの対比（設定日比騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金再投資ベースです。

(注) S&P BDC 指数（円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

信託期間中における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案して決定し、1万口当たりの累計は3,500円（税込み）となりました。また、第71期から第72期における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第71期	第72期
	2019年11月21日～ 2019年12月20日	2019年12月21日～ 2020年1月20日
当期分配金	50	50
（対基準価額比率）	0.673%	0.678%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	50	50
翌期繰越分配対象額	879	829

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年11月21日～2020年1月28日)

項 目	第71期～第73期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	12	0.156	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(5)	(0.073)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(5)	(0.073)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.010)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	15	0.205	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(14)	(0.186)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(1)	(0.018)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	27	0.361	
作成期間の平均基準価額は、7,406円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

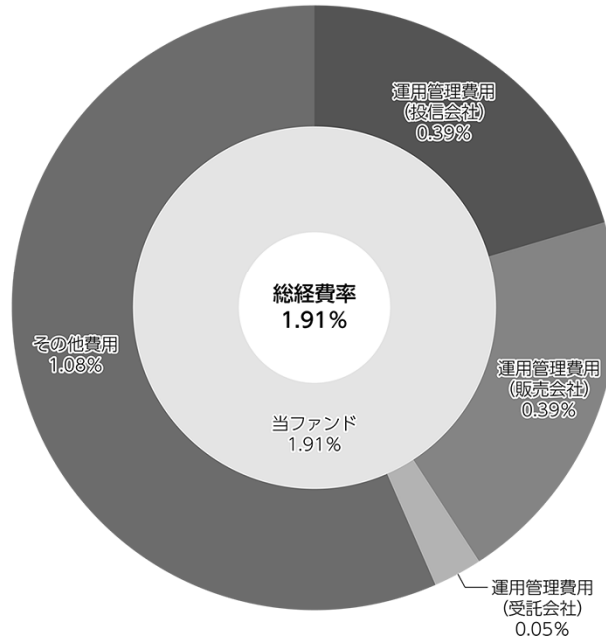
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年11月21日～2020年1月28日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第71期～第73期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
インデックス マザーファンド BDC	千口 —	千円 —	千口 92,450	千円 107,731

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月21日～2020年1月28日)

利害関係人との取引状況

<インデックスファンドBDC（毎月分配型）>

区分	第71期～第73期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 0.000176	百万円 0.000176	% 100.0	百万円 0.000176	百万円 0.000176	% 100.0

<インデックス マザーファンド BDC>

区分	第71期～第73期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 0.016293	百万円 0.016293	% 100.0	百万円 0.016293	百万円 0.016293	% 100.0

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2019年11月21日～2020年1月28日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年11月21日～2020年1月28日)

当作成期首残高 (元本)	当作成期設定 元本	当作成期解約 元本	償還時残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 100	百万円 -	百万円 100	百万円 -	当初設定時における取得とその処分

○組入資産の明細

(2020年1月28日現在)

2020年1月28日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	第70期末	
		口	数
インデックス マザーファンド BDC			千口 92,450

○投資信託財産の構成

(2020年1月28日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 97,224	% 100.0
投資信託財産総額	97,224	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び償還（基準）価額の状況

項 目	第71期末	第72期末	償 還 時
	2019年12月20日現在	2020年1月20日現在	2020年1月28日現在
	円	円	円
(A) 資産	105,545,374	99,323,257	97,224,461
コール・ローン等	1,124,728	1,054,261	97,224,461
インデックス マザーファンド BDC (評価額)	103,709,588	97,590,018	—
未収入金	711,058	678,978	—
(B) 負債	832,824	760,309	36,364
未払収益分配金	709,793	673,260	—
未払解約金	41,597	—	1
未払信託報酬	72,652	70,156	17,666
未払利息	1	—	30
その他未払費用	8,781	16,893	18,667
(C) 純資産総額(A-B)	104,712,550	98,562,948	97,188,097
元本	141,958,622	134,652,025	132,795,869
次期繰越損益金	△ 37,246,072	△ 36,089,077	—
償還差損金	—	—	△ 35,607,772
(D) 受益権総口数	141,958,622口	134,652,025口	132,795,869口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,376円	7,320円	—
1万口当たり償還価額(C/D)	—	—	7,318円61銭

(注) 当ファンドの第71期首元本額は146,430,747円、第71～73期中追加設定元本額は216,221円、第71～73期中一部解約元本額は13,851,099円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第71期0.7376円、第72期0.7320円、第73期0.731861円です。

(注) 2020年1月28日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は35,607,772円です。

○損益の状況

項 目	第71期	第72期	第73期
	2019年11月21日～ 2019年12月20日	2019年12月21日～ 2020年1月20日	2020年1月21日～ 2020年1月28日
	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 8	△ 23	△ 30
支払利息	△ 8	△ 23	△ 30
(B) 有価証券売買損益	△ 187,159	△ 8,193	3,688
売買益	2,469	1	3,493
売買損	△ 189,628	△ 8,194	195
(C) 信託報酬等	△ 81,433	△ 78,639	△ 19,801
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 268,600	△ 86,855	△ 16,143
(E) 前期繰越損益金	△17,440,964	△17,462,609	△17,962,139
(F) 追加信託差損益金	△18,826,715	△17,866,353	△17,629,490
(配当等相当額)	(11,513,180)	(10,921,037)	(10,770,631)
(売買損益相当額)	(△30,339,895)	(△28,787,390)	(△28,400,121)
(G) 計(D+E+F)	△36,536,279	△35,415,817	—
(H) 収益分配金	△ 709,793	△ 673,260	—
次期繰越損益金(G+H)	△37,246,072	△36,089,077	—
償還差損金(D+E+F+H)	—	—	△35,607,772
追加信託差損益金	△18,826,715	△17,866,353	—
(配当等相当額)	(11,513,180)	(10,921,037)	(—)
(売買損益相当額)	(△30,339,895)	(△28,787,390)	(—)
分配準備積立金	973,497	249,672	—
繰越損益金	△19,392,854	△18,472,396	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2019年11月21日～2020年1月20日)は以下の通りです。

項 目	2019年11月21日～ 2019年12月20日	2019年12月21日～ 2020年1月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	11,513,180円	10,921,037円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,683,290円	922,932円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	13,196,470円	11,843,969円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	929円	879円
g. 分配金	709,793円	673,260円
h. 分配金(1万円当たり)	50円	50円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年2月18日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年1月28日		資産総額	97,224,461円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	36,364円
				純資産総額	97,188,097円
受益権口数	100,000,000口	132,795,869口	32,795,869口	受益権口数	132,795,869口
元本額	100,000,000円	132,795,869円	32,795,869円	1万円当たり償還金	7,318円61銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	100,000,000円	98,645,236円	9,865円	-円	-%
第2期	100,000,000	95,588,180	9,559	-	-
第3期	107,409,232	100,940,037	9,398	50	0.5
第4期	108,235,492	97,751,906	9,031	50	0.5
第5期	115,072,388	107,912,722	9,378	50	0.5
第6期	132,299,246	125,286,261	9,470	50	0.5
第7期	134,707,177	128,600,310	9,547	50	0.5
第8期	140,499,910	138,304,664	9,844	50	0.5
第9期	142,361,449	130,762,202	9,185	50	0.5
第10期	136,258,419	141,204,401	10,363	50	0.5
第11期	133,521,769	133,344,087	9,987	50	0.5
第12期	138,453,464	131,839,637	9,522	50	0.5
第13期	138,589,237	139,061,564	10,034	50	0.5
第14期	140,299,420	141,928,724	10,116	50	0.5
第15期	146,848,829	148,068,250	10,083	50	0.5
第16期	148,328,993	150,218,168	10,127	50	0.5
第17期	147,716,709	149,004,941	10,087	50	0.5
第18期	150,814,659	150,449,010	9,976	50	0.5
第19期	149,053,876	144,558,352	9,698	50	0.5
第20期	157,251,214	142,439,091	9,058	50	0.5
第21期	158,016,671	140,818,502	8,912	50	0.5
第22期	158,267,988	148,767,496	9,400	50	0.5
第23期	158,797,674	138,211,534	8,704	50	0.5
第24期	159,795,633	123,176,514	7,708	50	0.5
第25期	177,116,052	130,673,439	7,378	50	0.5
第26期	180,803,650	148,328,109	8,204	50	0.5
第27期	182,747,018	149,650,917	8,189	50	0.5
第28期	183,631,917	145,884,606	7,944	50	0.5
第29期	184,322,179	142,252,217	7,718	50	0.5
第30期	185,945,225	152,648,333	8,209	50	0.5

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第31期	176,838,882円	142,118,738円	8,037円	50円	0.5%
第32期	179,096,193	143,902,889	8,035	50	0.5
第33期	177,397,817	144,109,627	8,124	50	0.5
第34期	177,925,597	156,747,524	8,810	50	0.5
第35期	188,500,862	178,554,085	9,472	50	0.5
第36期	199,510,827	189,201,412	9,483	50	0.5
第37期	229,243,859	220,883,863	9,635	50	0.5
第38期	224,614,409	214,290,874	9,540	50	0.5
第39期	232,109,988	214,902,001	9,259	50	0.5
第40期	233,735,228	209,998,327	8,984	50	0.5
第41期	233,182,577	210,485,678	9,027	50	0.5
第42期	239,348,946	218,070,390	9,111	50	0.5
第43期	239,029,369	202,119,042	8,456	50	0.5
第44期	242,650,769	207,423,620	8,548	50	0.5
第45期	236,137,741	206,333,653	8,738	50	0.5
第46期	245,399,073	211,472,641	8,617	50	0.5
第47期	248,549,079	210,201,442	8,457	50	0.5
第48期	252,124,725	209,058,110	8,292	50	0.5
第49期	233,660,283	179,636,948	7,688	50	0.5
第50期	230,805,061	173,823,595	7,531	50	0.5
第51期	230,894,078	177,590,985	7,691	50	0.5
第52期	269,742,049	220,751,550	8,184	50	0.5
第53期	228,760,214	186,343,778	8,146	50	0.5
第54期	226,113,883	191,737,314	8,480	50	0.5
第55期	226,037,001	188,347,767	8,333	50	0.5
第56期	230,346,484	193,614,479	8,405	50	0.5
第57期	226,993,933	180,996,330	7,974	50	0.5
第58期	227,034,271	180,325,961	7,943	50	0.5
第59期	228,559,566	164,463,966	7,196	50	0.5
第60期	232,113,947	176,225,714	7,592	50	0.5
第61期	229,428,394	182,004,382	7,933	50	0.5
第62期	236,497,501	188,701,820	7,979	50	0.5
第63期	234,342,184	188,371,898	8,038	50	0.5
第64期	234,757,985	186,935,643	7,963	50	0.5
第65期	240,364,661	188,073,815	7,825	50	0.5
第66期	248,097,536	192,668,179	7,766	50	0.5
第67期	250,581,187	191,684,112	7,650	50	0.5
第68期	216,100,383	169,758,404	7,856	50	0.5
第69期	166,044,113	124,580,354	7,503	50	0.5

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第70期	146,430,747円	109,020,517円	7,445円	50円	0.5%
第71期	141,958,622	104,712,550	7,376	50	0.5
第72期	134,652,025	98,562,948	7,320	50	0.5

○分配金のお知らせ

	第71期	第72期
1 万口当たり分配金（税込み）	50円	50円

○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金（税込み）	7,318円61銭
-----------------	-----------

○お知らせ

約款変更について

2019年11月21日から2020年1月28日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

インデックス マザーファンド BDC

償還 運用報告書

第7期（償還）（償還日 2020年1月27日）
（2019年11月21日～2020年1月27日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2014年2月18日から2020年1月27日までです。
運用方針	主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）やBDCに関連する証券に投資し、BDC市場の動きをとらえる指数（S&P BDC 指数（円換算ベース））に連動する投資成果を目標として運用を行ないます。
主要運用対象	BDCやBDCに関連する証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDCやBDCに関連する証券に投資し、BDC市場の動きをとらえる指数（S&P BDC 指数（円換算ベース））に連動する投資成果を目標として運用を行ないます。対象指数の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性を勘案し委託者の判断により決定するものとします。

運用にあたって、対象指数に採用されていないBDCについても、運用目的を達成するために有用であると判断される場合は投資を行ないます。また、対象指数に採用されているBDCの一部または全部の値動きに連動をめざす上場投資信託証券や債券などに投資する場合があります。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		S & P B D C 指数 (円換算ベース)		債組入比率	投資信託 組入比率	純資産額
	期騰落	中率	(ベンチマーク)	期騰落			
	円 銭	%			%	%	百万円
3期(2016年11月21日)	10,804	1.9	114.65	3.6	5.0	90.7	155
4期(2017年11月20日)	11,399	5.5	123.11	7.4	5.9	88.3	209
5期(2018年11月20日)	11,418	0.2	124.79	1.4	2.9	94.2	178
6期(2019年11月20日)	11,674	2.2	135.88	8.9	—	—	107
(償還時)	(償還価額)						
7期(2020年1月27日)	11,652.42	△0.2	142.66	5.0	—	—	96

(注) 「S&P BDC 指数」は、米国のBDC市場の動きを表す指数です。ニューヨーク証券取引所やNASDAQなどに上場するBDCを対象に、浮動株調整後の時価総額加重を基本として算出されます。同指数の(円換算ベース)とは、日興アセットマネジメントが公表指数をもとに円換算したものです。なお、設定時を100として2020年1月27日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		S & P B D C 指数 (円換算ベース)		
	騰落	率	(ベンチマーク)	騰落	率
(期首)	円 銭	%			%
2019年11月20日	11,674	—	135.88	—	—
11月末	11,665	△0.1	138.93	2.2	2.2
12月末	11,653	△0.2	141.50	4.1	4.1
(償還時)	(償還価額)				
2020年1月27日	11,652.42	△0.2	142.66	5.0	5.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2014年2月18日～2020年1月27日)

基準価額の推移

設定時10,000円の基準価額は、償還時に11,652円42銭となり、騰落率は+16.5%となりました。

基準価額の変動要因

信託期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・良好な内容の経済指標の発表や減税と財政支出の拡大などの景気刺激策を掲げる大統領候補の当選を受けて、米国経済の持続的成長への期待が高まったこと。
- ・米国の長期金利が低下し、BDC（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）の相対的な高利回りの魅力が高まったこと（2018年12月上旬～期間末）。
- ・主要なBDCの業績が市場予想を上回ったこと。
- ・米中貿易協議での正式な部分合意に向けた進展や、英国と欧州連合（EU）との間の離脱協定改定案の合意などによる英国の合意なきEU離脱回避への期待などから、市場のリスク選好姿勢が強まったこと。
- ・円安／アメリカドル高が進行したこと。

＜値下がり要因＞

- ・中国や欧州における市場予想を下回る内容の経済指標の発表や中国人民元安などを受けた世界景気の減速が懸念されたこと。
- ・北朝鮮などの地政学的リスクが意識され、投資家によるリスク回避姿勢が強まったこと。
- ・米国の長期金利が上昇傾向となったことで、BDCの相対的な高利回りの魅力が低下したこと（2016年7月上旬～2018年11月上旬）。

(BDC市況)

米国BDC市況において、S&P BDC 指数は期間の初めと比べて上昇しました。

期間の初めから2016年2月上旬にかけては、ギリシャ支援の先行き不透明感などから投資家によるリスク回避姿勢が強まったことや、米国連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ観測が強まり、BDCの資金調達のコスト増加などが懸念されたこと、中国や欧州における市場予想を下回る内容の経済指標の発表や中国人民元安などを受けた世界景気の減速が懸念されたことなどから、S&P BDC 指数は下落しました。2016年2月中旬から2017年4月下旬にかけては、良好な内容の経済指標の発表や減税と財政支出の拡大などの景気刺激策を掲げる大統領候補の当選を受けて米国経済の持続的成長への期待が高まったことや、主要なBDCの決算が概ね堅調な内容であったことなどから、S&P BDC 指数は上昇しました。2017年5月上旬から2018年12月下旬にかけては、主要なBDCの決算が市場予想を上回ったことなどが指数の上昇要因となったものの、米国の長期金利が上昇傾向となったことでBDCの相対的な高利回りの魅力が低下したことや、一部のBDCに対する業績悪化や減配への懸念が強まったこと、北朝鮮の核実験などによる情勢緊迫化から投資家のリスク

基準価額の推移



設 定 時	信託期間中高値	信託期間中安値	償 還 時
2014/02/18	2017/03/02	2016/02/12	2020/01/27
10,000円	12,187円	8,043円	11,652円42銭

回避姿勢が強まったことなどから、S&P BDC 指数は下落しました。景気減速懸念などを背景に2018年12月に米国株式市場が大幅に下落したことも、指数の下落要因となりました。2019年1月上旬から期間末にかけては、FRBによる利下げや利下げ観測の継続などを受けて米国の長期金利が低下し、BDCの相対的な高利回りの魅力が高まったことや、主要なBDCの業績が市場予想を上回ったこと、米中貿易協議での正式な部分合意に向けた進展や、英国とEUとの間の離脱協定改定案の合意などによる英国の合意なきEU離脱回避への期待などから、市場のリスク選好姿勢が強まったことなどを背景に、S&P BDC 指数は上昇しました。

(為替市況)

信託期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。



ポートフォリオ

主として、米国の金融商品取引所に上場されているBDCやBDCに関連する証券に投資し、ベンチマークである「S&P BDC 指数(円換算ベース)」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

償還時にかけては、当ファンドに投資している「インデックスファンドBDC(毎月分配型)」が、2020年1月28日をもって繰上償還することになりましたため、組入銘柄をすべて売却し、コール・ローンなどで運用しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

信託期間中における基準価額は、16.5%の値上がりとなり、ベンチマークである「S&P BDC 指数(円換算ベース)」の上昇率42.7%を概ね26.1%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

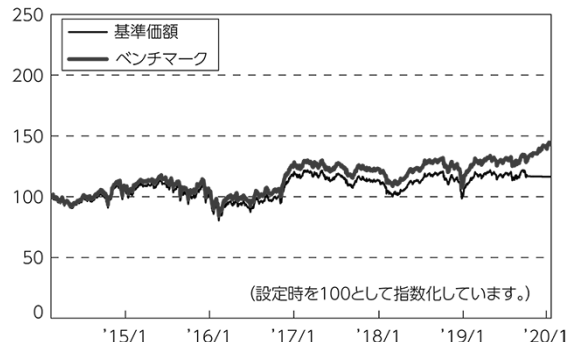
<プラス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。

<マイナス要因>

- ・銘柄選択に基づく要因。
- ・組入銘柄の配当金・分配金にかかる税金。
- ・海外カストディ・フィーや売買手数料などの諸費用。
- ・繰上償還に備えた組入銘柄の売却の影響。

基準価額とベンチマーク(指数化)の推移



○1万口当たりの費用明細

(2019年11月21日～2020年1月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 22	% 0.187	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(22)	(0.187)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	22	0.187	
期中の平均基準価額は、11,659円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年11月21日～2020年1月27日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月21日～2020年1月27日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
			%			%
金銭信託	百万円 0.016293	百万円 0.016293	100.0	百万円 0.016293	百万円 0.016293	100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年11月21日～2020年1月27日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2020年1月27日現在)

2020年1月27日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2020年1月27日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 96,253	% 100.0
投資信託財産総額	96,253	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2020年1月27日現在)

項 目	償 還 時	円
(A) 資産	96,253,341	
コール・ローン等	96,253,341	
(B) 負債	28	
未払利息	28	
(C) 純資産総額(A-B)	96,253,313	
元本	82,603,690	
償還差益金	13,649,623	
(D) 受益権総口数	82,603,690口	
1万口当たり償還価額(C/D)	11,652円42銭	

(注) 当ファンドの期首元本額は92,450,920円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は9,847,230円です。

(注) 2020年1月27日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・インデックスファンドBDC (毎月分配型) 82,603,690円

(注) 1口当たり純資産額は1.165242円です。

○損益の状況 (2019年11月21日～2020年1月27日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 5,060	
受取利息	7	
支払利息	△ 5,067	
(B) 有価証券売買損益	2,094	
売買益	2,094	
(C) 保管費用等	△ 191,474	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 194,440	
(E) 前期繰越損益金	15,475,085	
(F) 解約差損益金	△ 1,631,022	
償還差益金(D+E+F)	13,649,623	

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2019年11月21日から2020年1月27日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。